

主な所見

石灰化

過去の炎症跡にカルシウムと塩が沈着した状態です。

結節影・腫瘤影

境界のはっきりした円形状の陰影です。
がんや結核などでも見られる所見のため、精密検査が必要です。

浸潤影

肺胞内への細胞成分や液体成分が入り込んで生じる境界の不鮮明な陰影をいいます。
肺炎などの炎症のほか、腫瘤でも見られます。
がんや結核に伴って見られることもあるため、精密検査が必要です。

陳旧性陰影

過去に罹った肺炎や結核などの炎症の跡です。
支障ありません。

心拡大

肺の横幅に対し、心臓の横幅の割合が50%を超えている状態です。
年齢や体型にもよりますが、弁膜症や、心不全の徴候の場合があります。

胸水貯留

胸腔部に通常存在しない水が溜まった状態です。
原因を特定するために精密検査をお勧めする場合があります。